

地元企業よかところ発見バスツアー 実施報告書

【大隅コース】

日時	平成29年9月1日（金）				10時	～	11時
企業名	(株)ナンチク		所在市町	曾於市	業種	加工品の製造販売	
参加者	・学生 13人 教職員 5人		合計 18人				
担当者	第一工業大学		企業				
	所属・職 社会連携センター長 氏名 吉本 博明		所属・職 総務部人事課 課長 氏名 室屋 周平				
内 容							
<p>①概要説明</p> <p>ナンチク設立以前、鹿児島県で飼育された牛や豚は、関東などの消費地へ列車により運搬されていた。しかし、輸送の途中で牛や豚が死亡したり肉質が低下するなどの問題が発生。良質な食肉を安定して全国に届けるべく、昭和38年に国・県・市町村・民間により日本初の大規模産地食肉処理販売会社としてナンチクが設立された。鹿児島県は、全国一位の肉用牛・豚の飼養頭数を誇る畜産県である。また宮崎県は第2位であり、ナンチクは鹿児島県と宮崎県の県境に近い場所に位置し、両県における食肉生産の拠点である。本社のある鹿児島県曾於市と志布志市に5つの工場、九州各地や全国主要都市に営業所を構える。本社近くには直営レストランもあり、生産から消費までを一貫して取り扱っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 牛処理工場 昭和46年完成で最も古く、1日約60頭の牛を処理している。対米輸出認定を受けており、アメリカはもとより香港、シンガポールやマカオに輸出を行っている。 ● 豚処理工場 1日約1600頭を処理する。 ● 食材工場 平成15年操業開始。スープ原料、豚脂、ミンチ肉などを製造。 ● 製造工場 平成2年操業開始。ハンバーグやぎょうざなど、冷凍食品を製造。 ● ハム工場 昭和61年に志布志市にて操業開始。ハム・ウインナー等を製造。 <p>②施設（工場）見学</p> <p><豚製造科（豚処理工場内）></p> <p>蒸気による脱毛後、胸割り工程を経た豚が、カットライン工程に入る。ここでは骨抜き、皮はぎ、整形、金探工程、包装、箱詰めが行われる。</p> <p>1日8時間の稼働時間で1600頭の豚を処理する。3列のラインで構成されているので、1ライン1頭/分の処理になる。夏の中元、冬の歳暮の時期は需要が拡大するため出荷量は増加する。完全に分業化された流れ作業で、前後のペースを乱さないよう作業をこなさなければならないため、経験の浅い新入社員はカットライン工程には入ることができない。骨抜き、整形は、皮むきは力を要する</p>							

ため、男性が主に担当する。

作業場は 10℃くらいに設定。エアコン使わず気流により室温コントロールされている。カットライン工程に入る前にほぼ完全に血抜きが行われており、作業現場が血液で汚れることはほとんどない。カットライン工程の副産物（皮や骨や脂）は、ゼラチンやスープ原料などの二次製品に加工される。廃棄対象となるのは血液ぐらいだが、血液も一部は医薬品等に利用される。

③意見交換等

- A5 ランクにされる牛・豚を飼養・出荷することに長けた生産者というのがあるのか？

いる。飼養の問題ではなく、牛は馬と同じで A5 ランクの血統があるので、その血統の牛を飼養している生産者がいる、ということになる。

- 繁忙期は勤務体制などどうなるのか？休みがない、残業が増えるなど、対応は？

処理頭数が大幅に増えるので、残業は増える。連続勤務にならないよう、ローテーションで休日を組むが、通常期のようにはいかないことが多い。

④その他

自分たち日常で目にしているパック詰め食肉が、もとは「豚」（あるいは「牛）」という大きな動物であるという事実を、頭では認識していても、実際に加工されていく様子に驚きや感嘆の声が多くあがっていた。道具としての機械は使用しているが、ほとんどが手作業で行われており、そのスピードも目を見張るものがあった。

工場も含めて社内は整理整頓、清掃が行き届いており、HACCP システムによる安全管理、衛生管理が徹底されていた。



※ 「内容」は基本的な項目を示してありますので、実施内容に応じて、適宜、作成してください。

※ 作成に当たっては、写真を貼り付ける（別添でも可）など工夫してください。

地元企業よかところ発見バスツアー 実施報告書

【大隅コース】

日時	平成29年9月1日(金)	13時	～	14時	
企業名	(株)さかうえ	所在市町	志布志市	業種	契約栽培事業

①概要説明

志布志市志布志町で、さつまいも・米・ピーマンなどを栽培、1980年代から芝の生産・販売やコンビニおでん用の大根の栽培を開始。1995年に坂上芝園として有限会社化。2010年に株式会社さかうえに社名変更し、契約栽培事業を展開。土壌分析や、農業工程管理システムによる栽培の効率化や作物の安定供給をもとに、「新しい農業価値の創造」を目指している。作付面積は210ヘクタール、社員の55%は20～30代で構成され、県外出身者も多い。農業未経験で就職しても、システムによるマニュアル化された業務により、いち早く戦力となることが可能。

牧草飼料事業では、デントコーンを大規模栽培し独自ノウハウにより製造したサイロール[®]を販売。販売先の畜産農家から得た堆肥と自社で栽培したデントコーンを緑肥化した有機質肥料により、循環型農業を展開している。設立当初から蓄積し分析したデータをもとに開発した管理システムは、事業拡大を図る農業関連企業や農業生産法人などで導入が始まり、IT関係の賞を数多く受賞し評価が高まっている。

②施設(工場)見学

● デントコーン用収穫機の見学

日本国内に3台しかない自走式コーンハーベスタジョン・ディア7400。非常に大きな機械で、見学者からは驚きの声が多数あがっていた。稼働時間は実質1か月足らずと短い。

● ケール栽培のハウス

グループ長は県外出身の男性。さかうえで就農して8年ほど。種付けを3人で行っていた。

● ピーマンのハウス

東京から就職してきた20代女性がグループ長を務める。ピーマンはさかうえの作付面積の1%で1億円以上を売上げる。販売先は東京や大阪など大都市の飲食店等。

③意見交換等

● 大型機械の倉庫、清掃、整理整頓が徹底されているが。

どこに何があるかを、社員のだれが見てもわかるようにすることも、業務の効率化の重要ポイントである。

● 新卒の採用を積極的に行っているが、離職率はどうか？

採用面接時に最低一日(7:20～17:00)の体験実習を実施。農作業や会社の雰囲気を感じてもらい、ミスマッチの軽減に努めている。



④その他

● 地域の人から畑を貸してもらえる理由

すでに借りて作付けを行っている畑の周りに草が生えたら、すぐに刈り取るなど、きれいに使う

ことを徹底している。その様子を見た他の人が、「さかうえさんは綺麗に畑を使ってくれる。うちの畑も使ってほしい」と、申し出てくれることが多いそうである。

地元企業よかところ発見バスツアー 実施報告書

【大隅コース】

日時	平成29年9月1日(金)	15時	～	16時	
企業名	山佐木材株式会社	所在市町	肝属郡	業種	制裁品の集成材の製造・加工

①概要説明

昭和23年に山佐産業株式会社として創業。以来、製材を中心とし、平成3年にはスギ構造用集成材で日本初のJAS認定を取得。平成26年にはCLTのJAS認定を受け、全国各地に大型木造建築の施工実績を持つ。肝付町に3つの工場を有し、見学に訪れた下住工場は東京ドーム1.5個分の敷地面積を持つ。国産(特に南九州産)のスギ材・ヒノキ材を使用し、丸太から乾燥、製材、集成材の製造・加工、CLT、大型木造建築の設計・施工まで、一貫して取り扱う。

<新事業>

1、CLT事業

CLTはCross Laminated Timberの略で、ひき板を層ごとに直行するように積層接着してパネル化した木質材料。軽量で耐火性、断熱性に優れ、欧米を中心に海外で高層建築物の材料として急速に普及が進んでいる。国内でも70例ほどCLT工法の建築物があり、スギ材など国産材利用拡大に大きな期待が集まっている。

2、SAMURAI

鹿児島大学の塩屋晋一教授が開発した、溝加工を施した中に鉄筋を挿入し、樹脂接着剤で充填したひき板を用いて構成されたスギ集成材。一般の集成材に対し硬さと曲げ強度は約3倍。梁として用いる場合は、曲げ強度は6倍となり、梁せいを55%小さくすることができる。山佐木材工場内に、SAMURAI 第一号となる試作棟が国土交通大臣認定を取得して建設された。RCをしのぐ集成材として期待されている。

②施設(工場)見学

<製材>

● 原木・土場

大隅半島を中心に、九州一円から集められた原木が集められている。

● 皮むき・リフト

皮をむかれた丸太が、リフトに乗って一本一本製材工場へ運ばれる。

● ツインソー、ギャングソー

大型の機械で柱や桁、集成材のようにカットされる。非常に大きな音がしていた。

● 木質バイオマス

原木の皮や工場内で出たカンナくず等は、集積してボイラーで熱を作り、木材の乾燥処理に使用される。

● 積層接着・圧縮

機械のあたりには接着剤の非常に硬い接着剤のかたまりが落ちていた。

● CLT工法による建造物の見学

当時の外気温は36℃近くであった。CLT工法で建てられた部屋は、空調設備がないにも関わらず、



非常に涼しく、CLTの断熱性を体感することができた。また、通常の集成材で建てられた建物とCLT工法の建物で、上の階からの振動の伝わり方に違いがあるかを全員で確認した。

③意見交換等

- 今後、国内でCLT工法による大型木造建造物の施工計画はあるか？

沖縄県の下地島空港に、CLT工法でターミナルを建設する予定。

- 1本のスギから、どれくらいの丸太が取れるのか？

1本のスギから1立米が平均的。

- 建材として適している木材など、なにか特徴があるか？

柱・梁には、細目でまっすぐな物を選んでいる。



- ヤマサハウスとは、グループ企業なのか？

ヤマサハウスの社長と山佐木材の社長が兄弟であり、以前は同じ会社だったが、現在は全く独立した別企業。ヤマサハウスは、重要な取引先である。

④その他

事務所、工場はすべて木造建築で、木の香りが漂い、木材に対する愛着が感じられた。CLT構造の建設物は、社員の休憩室としても使われており、快適な室温と心地よく漂う木の香りでリラックスできるという話を下さった。